

学級活動指導案
題材名「災害に備えて」〔学指要領：(2)ウ〕

令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇校時 4年〇組 教室
 〇〇市立〇〇小学校 指導者〇〇 〇〇

I 題材の構想

1 育成を目指す資質・能力及び児童の実態

	資質・能力	児童の実態
知識及び技能	・日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全といった、自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けるようにする。	・避難訓練の様子などから、地震が発生した際には、頭を守るといった避難行動が大切なことであることは理解している。 ・いつ発生するかわからない災害に対して、自分事として捉えることが難しい児童もいる。
思考力、判断力、表現力等	・自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定したり、行動を選択したりすることができるようにする。	・避難訓練の様子などから、実際に災害が起こったら、「怖い」「パニックになりそう」といった意見もあり、自ら考えて行動することが難しい児童もいる。
学びに向かう力、人間性等	・自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしていたりする態度を養う。	・普段から友達と協力しながら、クラスでの役割や行事等に積極的に取り組むことができるが、発表の場面では、自分の意見を発言することに苦手意識をもっている児童もいる。

2 評価規準

知識・技能	・日常及び災害時には、危険を予測したり、事前に備えたりするなどの日常生活を安全に保つための事柄や正しい知識が大切であることを理解している。 ・必要な情報を集め、状況に応じてより良く判断を行い行動するといった、健康安全を意識した行動の仕方を身に付けている。
思考・判断・表現	・防災に関する問題に気付き、その原因や対処の方法などについて考え、話し合いを通して、意思決定や行動選択を行っている。
主体的に学習に取り組む態度	・自分や他の生命を尊重し、進んで決まりを守り、その後の生活の改善に生かそうとしている。

3 指導及び評価、ICT 活用の計画

過程	主な活動	目指す児童の姿（観点）〈評価方法〉
事前	・映像資料等を活用して、地震の被害について知る。(あ) (a)	・災害に対して、自分事として捉え、避難訓練やその後の振り返りにおいて、友達の意見も取り入れながら、安全確保のための避難行動について、自分の考えを伝えている。(思) (主)〈観察・ワークシート〉
	・緊急地震速報の音源を実際に聞き、地震が発生した際の「身を守る行動」の仕方を知る。(あ)	
	・「地震を想定した予告なしの避難訓練」において、自ら判断し、行動する。訓練後、自らの行動を振り返り、クラス全体で共有する。(あ)	
	・地域の水害のリスクについて、ハザードマップで確認する。(b)	
本時	・各自が持参した非常用持ち出し品を紹介し合い、災害に備えて、事前に準備しておくことの大切さについて考える。(あ) (a)	※展開参照
事後	・「地震を想定した予告なしの避難訓練」(ショートバージョン)において、自ら判断し、行動する。訓練後、自らの行動を振り返り、クラス全体で共有する。(あ)	・既習事項を生かし、避難訓練において、安全を確保するための避難行動をとっている。(知) (思)〈観察・ワークシート〉

* 活用する学習支援ソフト等：(あ) ミライシード・オクリンク

* 活用するコンテンツ等：(a) NHK FOR SCHOOL (b) 桐生市水害ハザードマップ

4 題材設定の理由

普段から、友達と協力しながら、クラスでの役割や行事等に積極的に取り組むことができる児童が多い。一方、友達に自分の考えを伝えたり、自分の考えと友達の考えを比較検討したりしながら、よりよい解決策を探るといった活動に苦手意識をもっている児童もいる。加えて、災害に対して、自分事として捉えることが難しい児童も見られる。

このことから、予告なしの避難訓練や防災体験、防災に関する授業等を通して、児童が災害に対して、命を守るために自ら考え、適切に行動できる資質・能力を育成する上で価値があると考え、本題材を設定した。

II 本時

1 **ねらい** 家族と相談し持参した非常用持ち出し品を紹介し合う場面において、必要だと考えた理由等について、グループや全体で交流する活動を通して、災害に備えて事前に準備をしておくことの大切さを知り、自ら解決方法を意思決定したり、行動を選択したりすることができるようにする。

主な学習活動 予想される児童の反応〔S〕	主な発問	○ 指導上の留意点 ◆ 目指す児童の姿（観点）
<p>1 クロスロードを用いて、「非常用持ち出し品」を準備しておくことの必要性を知り、本時のめあてをつかむ。（5分）【★思考の補助】【★共有】</p> <p>設問：避難所に来て、数時間が経ちますが、水や食料はまだ届いておらず、周りの人はお腹を空かせています。自分が持ってきたカバンから、お菓子が1つ出てきました。あなたは、食べる？食べない？ A：食べる B：食べない</p> <p>S：人に見られないように、こっそり食べる。 S：周りの人に悪いから、食べない。</p> <p><めあて>災害に備えた準備で、大切なことは何だろう？</p> <p>S：電気が止まるから、懐中電灯が必要じゃないか。</p>		<p>○前時の学習とのつながりから課題意識がもてるよう、関連する写真、動画等を提示する。 【★提示・配布】</p> <p>○クロスロードのルールを説明する。 【★提示】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問に対する自分の考え（二者択一）を決める。 ・自分の考えとその理由をグループで発表する。 <p>○まずは、相談せずに自分の考えと、その理由を入力することに加え、避難所の環境を想起するよう助言する。</p> <p>○安心して自分の考えをもてるよう、正解・不正解がある設問ではないことを助言する。</p> <p>○児童の言葉でめあての設定ができるよう、災害が発生すると、普段と同じような生活ができなくなることや被災後数日をやり過ごすために、必要なものを各家庭で準備しておくことの必要性等について助言する。</p>
<p>2 持参した非常用持ち出し品をグループ内で紹介し合い、他のグループに勧めたいと思う品を1つ選び、全体で発表する。（10分）</p> <p>「グループごとに、お勧めしたい非常用持ち出し品を1つ選ぶとしたら、何を選びますか？」</p> <p>S：情報が欲しいから、ラジオが必要じゃないかな。 S：水が使えないなら、簡易トイレが必要だろう。</p> <p>『誰と逃げるか』『どこに逃げるか』を想像してもう一度、非常用持ち出し品を選んでみましょう。</p> <p>S：おじいちゃんと一緒にだから、薬は必要だ。 S：妹はまだ小さいから、オムツとミルクが必要だ。 S：犬を飼っているから、ペット用品も必要だな。 ◎：避難する場所や非常用持ち出し品について、家庭で事前に話し合っておくことが大切であることに気付かせたい。</p>		<p>○グループ内で紹介し合う場面では、各自が持参したものと必要と考えた理由について、使用する状況も明確にイメージできるよう実物を提示しながら紹介するよう助言する。</p> <p>○全体で共有する場面では、少数の意見も取り入れて、考えを深められるよう意図的に指名をする。</p> <p>○全体で共有する際、より深く考えられるよう、考えを揺さぶるような問い返しをする。</p> <p>○「誰と逃げるか」「どこに逃げるか」の視点をもって選り直せるよう、非常用持ち出し品リストにチェックするよう指示する。</p> <p>○別の意見も取り入れ、考えを深められるよう意図的に指名する。</p> <p>◆目指す児童の姿（思） 持参した非常用持ち出し品をもとに、グループや全体で交流している様子から、「災害への備えについて、選択・判断し、その理由や根拠について説明しているか」を評価する。</p>
<p>3 水・食料の備蓄や持ち出し方法について考え、3日分の水と食料を入れたバッグを背負う体験をする。（10分）</p> <p>「災害に備えて、3日分の水や食料を準備していますか？」</p> <p>S：非常用持ち出し袋は、用意していないな。 S：家に3日分の水・食料があるか、わからない。 S：お茶のペットボトルやお菓子なら、あるな。</p> <p>「3日分の水や食料を実際に持ってみよう！」</p> <p>S：3日分の水と食料って、どのくらいの量だろう。 S：重くて、歩いて持って行くのは大変そうだ。 S：こんなに重いものだから、本当に必要か、よく考えないといけないな。</p>		<p>○自他の備蓄状況を確認できるよう、宿題で調べてきた各家庭の水・食料の備蓄状況について、全体に問いかける。</p> <p>○非常用の水・食料でなくても、家庭で普段食べているもので、災害時に食べることができれば良いことに気付けるよう、「ローリングストック」に関連する図を提示する。 【★提示】</p> <p>○家庭の状況を振り返ることができるよう、「ローリングストック」の考え方を踏まえ、もう一度、災害が発生した後、家庭で普段食べている物で、3日間生き延びることができるか、全体に問いかける。</p> <p>○避難するときのことをイメージできるよう、バッグの重さを体感したことを踏まえ、非常用持ち出し品をどのように運ぶか、準備する際に大切なことは何か、全体に問いかける。</p>
<p>4 桐生市防災・危機管理課の方から避難所の様子や避難に必要な物品の持ち出し方法について話を聞く。（10分）</p> <p>避難所ではどのように生活するのだろうか。避難に必要な物品を持ち出すときは、どんなことに気をつけたいだろうか。</p> <p>S：避難所がいっぱいだったら、どうなるんだろう。 S：ペットは連れて行けるのかな。</p>		<p>○事前に、避難所や避難に必要な物品の持ち出しについて、質問したいことを考えさせておく。</p> <p>○防災・危機管理課の方のお話を聞いて、印象に残ったことについて、メモを取るよう促す。</p>
<p>5 本時のめあてに対するまとめを確認し、学習内容を振り返る。（10分） 【★データの保存・提出】</p> <p><まとめ> 一緒に避難する家族のことを考えて、避難する場所や必要な非常用持ち出し品について、家族で話し合っておくことが大切である。</p> <p><振り返り> S：いつ起こるか分からない災害に備えて、事前に準備しておきたい。 S：自分だけでなく、周りの人（家族）のことも考えて行動したい。</p>		<p>○本時の学習を通して、児童の言葉でまとめられるよう、めあてに立ち返り、「災害に備えた準備で大切なこと」について問いかける。</p> <p>○めあてに沿った振り返りができるよう、「自分にできること」について問いかける。</p> <p>○防災について多面的・多角的に捉えられるよう、児童の振り返りを大型モニターに映し、意図的に指名により紹介しながら、全体で共有する。 【★一覧表示】</p>